

LR 独立保証声明書

楽天グループ株式会社の 2020 年環境・社会データに関する保証

この保証声明書は、契約に基づいて楽天グループ株式会社に対して作成されたものであり、報告書の読者を意図して作成されたものである。

保証業務の条件

ロイドレジスタークオリティアシュアランスリミテッド（以下、LR という）は、楽天グループ株式会社（以下、会社という）からの委嘱に基づき、コーポレートレポート 2020 及び楽天グループ ESG データブック 2020 に掲載される 2020 年（2020 年 1 月 1 日～12 月 31 日）の会社の環境・社会データ（以下、報告書という）に対して、検証人の専門的判断による重要性水準において、ISAE 3000 及び温室効果ガス (GHG) については ISO14064-3:2006 を用いて、限定的レベルの独立保証業務を実施した。

LR の保証業務は、会社とその国内外連結会社における運営及び活動¹に対して、以下の要求事項を対象とする。

- 会社の定める報告手順への適合性の検証
- 以下の指標に関するデータの正確性及び信頼性の評価²

環境データ³

- エネルギー使用量 (MWh 換算値)
- スコープ 1 GHG 排出量 (tCO₂e)
- スコープ 2 GHG 排出量 (tCO₂e)
(マーケット及びロケーション基準)
- スコープ 3 GHG 排出量 (カテゴリー 1-8, 11, 12, 14, 15) (tCO₂e)
- 水使用量 (m³)⁴
- 廃棄物処理量 (トン)⁵

社会データ⁶

- 勤続年数
- 障がい者雇用率
- 業務上の死亡者総数
- 業務上傷害度数率
- 業務上疾病度数率

LR の保証業務は会社のサプライヤー、業務委託先、及び報告書で言及された第三者に関するデータ及び情報を除くものとする。

LR の責任は、会社に対してのみ負うものとする。本声明書の脚注で説明されている通り、LR は会社以外へのいかなる義務または責任を放棄する。会社は報告書内の全てのデータ及び情報の収集、集計、分析、公表、及び報告書の基となるシステムの効果的な内部統制の維持に対して責任を有するものとする。報告書は会社によって承認されており、その責任は会社にある。

保証意見

LR の保証手続の結果、会社が全ての重要な点において、

- 自らの定める基準に従って報告書を作成していない
- 正確で信用できる環境・社会データを開示していない

ことを示す事実は認められなかった。この保証声明書で表明された検証意見は、限定的保証水準、及び検証人の専門的判断に基づいて決定された。

¹ 全ての主要オフィス（報告期間中に 48 人以上の常勤従業員がいる拠点）、全てのロジスティクスセンター、全てのスポーツ施設、すべての基地局、全てのデータセンター、楽天農業株式会社のすべての工場、楽天モバイル株式会社のすべての直営店を対象とする。

² コーポレートレポート 2020 及び楽天グループ ESG データブック 2020 において Vマークを付した環境・社会データについて限定的保証業務を行った。

³ GHG の定量化には固有の不確かさが前提となる。

⁴ 楽天農業株式会社で使用する井戸水は除く。

⁵ 廃棄物総排出量の算定対象範囲は、楽天クリムゾンハウス、二子玉川ライズオフィス、ロジスティクスセンター（RFC 市川 I、市川 II、市川 III、市川 IV、川西、流山、枚方、習志野）、楽天モバイル（オフィス）、Rakuten Direct Logistics（相模原、成田、南港 GLP、南港 PP5、飯塚）、楽天農業（Ozu Niiya, Ozu Haruka）、楽天生命パーク宮城、ノエビアスタジアム神戸、楽天損保保険（オフィス）、楽天カード（オフィス）に限定される。

⁶ 勤続年数、業務上の死亡者総数、業務上傷害度数率、業務上疾病度数率は楽天グループ株式会社を対象とする。障がい者雇用率は楽天グループ株式会社、楽天ソシオビジネス株式会社、楽天コミュニケーションズ株式会社を対象とする。障がい者雇用率は 2020 年 12 月末時点を対象とする。

注:限定的保証業務の証拠収集は、合理的保証業務に比べて少ない範囲で行われ、各拠点を訪問して元データを確認するより集計されたデータに重点を置いている。従って、限定的保証業務で得られる保証水準は合理的保証業務が行われた場合に得られる保証に比べて実質的に低くなる。

保証手続

LRの保証業務は、ISAE3000及びGHGについてはISO14064-3に従って実施された。保証業務の証拠収集プロセスの一環として、以下の事項が実施された。

- 報告書内に重大な誤り、記載の漏れ及び誤りが無いことを確認するための、会社のデータマネジメントシステムを審査した。LRは、内部検証を含め、データの取扱い及びシステムの有効性をレビューすることにより、これを行った。
- データの収集と報告書の作成に関わる主たる関係者へのインタビューを行った。
- サンプルング手法を用いて、集計されたデータの再計算と元データとの突合を行った。
- 2020年の環境・社会データに関する記録および情報の検証を行った。
- COVID-19の世界的な感染拡大に伴う、会社の「訪問者の職場への入場制限」の実施により、データマネジメントシステムの運用状況を評価する為、楽天モバイル株式会社及び楽天農業株式会社について、e-mail及びZoomによるリモート検証を行った。

観察事項

各拠点からの報告値の正確性・網羅性向上のため、算定主担当の任命など活動データを正確に収集・集計・チェックできるシステムの構築を期待する。

基準、適格性及び独立性

LRはISO14065“温室効果ガス—認定又は他の承認形式で使用するための温室効果ガスに関する妥当性確認及び検証を行う機関に対する要求事項”、ISO17021-1“適合性評価—マネジメントシステムの審査及び認証を行う機関に対する要求事項—第1部：要求事項”に適合する包括的なマネジメントシステムを導入し、維持している。これらは国際会計士倫理基準審議会による国際品質管理基準第1号と職業会計士の倫理規定における要求も満たすものである。

LRは、その資格、トレーニング及び経験に基づき、適切な資格を有する個人を選任することを保証する。全ての検証及び認証結果は上級管理者によって内部でレビューされ、適用された手続が正確であり、透明であることを保証する。

LRが会社に対して実施した業務はこの検証のみであり、それ自体が我々の独立性あるいは中立性を損なうものではない。

署名

2021年5月31日

上野 一郎



上野 一郎

小田村 尚

LR 主任検証人（環境）

LR 主任検証人（社会）

ロイドレジスタークオリティアシュアランスリミテッド

神奈川県横浜市西区みなとみらい 2-3-1 クイーンズタワーA 10F

LR reference: YKA00000765

Lloyd's Register Group Limited, its affiliates and subsidiaries, including Lloyd's Register Quality Assurance Limited (LRQA), and their respective officers, employees or agents are, individually and collectively, referred to in this clause as 'Lloyd's Register'. Lloyd's Register assumes no responsibility and shall not be liable to any person for any loss, damage or expense caused by reliance on the information or advice in this document or howsoever provided, unless that person has signed a contract with the relevant Lloyd's Register entity for the provision of this information or advice and in that case any responsibility or liability is exclusively on the terms and conditions set out in that contract.

The English version of this Assurance Statement is the only valid version. Lloyd's Register Group Limited assumes no responsibility for versions translated into other languages.

This Assurance Statement is only valid when published with the Report to which it refers. It may only be reproduced in its entirety.

Copyright © Lloyd's Register Quality Assurance Limited, 2021. A member of the Lloyd's Register Group.

LR 独立保証声明書

楽天株式会社 の 2019 年環境・社会データに関する保証

この保証声明書は、契約に基づいて楽天株式会社に対して作成されたものであり、報告書の読者を意図して作成されたものである。

保証業務の条件

ロイドレジスタークオリティアシュアランスリミテッド（以下、LR という）は、楽天株式会社（以下、会社という）からの委嘱に基づき、コーポレートレポート 2019 及び楽天グループ ESG データブック 2019 に掲載される 2019 年（2019 年 1 月 1 日～12 月 31 日）の会社の環境・社会データ（以下、報告書という）に対して、検証人の専門的判断による重要性水準において、ISAE 3000 及び温室効果ガス（GHG）については ISO14064-3 を用いて、限定的レベルの独立保証業務を実施した。

LR の保証業務は、会社とその国内外連結会社における運営及び活動¹に対して、以下の要求事項を対象とする。

- 会社の定める報告手順への適合性の検証
- 以下の指標に関するデータの正確性及び信頼性の評価²

環境データ³

- エネルギー使用量 (MWh 換算値)
- スコープ 1 GHG 排出量 (tCO₂e)
- スコープ 2 GHG 排出量 (tCO₂e)
(マーケット及びロケーション基準)
- スコープ 3 GHG 排出量 (カテゴリー 1-8, 11, 12) (tCO₂e)⁴
- 水使用量 (m³)
- 廃棄物処理量 (トン)⁵

社会データ⁶

- 勤続年数
- 障がい者雇用率
- 業務上の死亡者総数
- 業務上傷害度数率
- 業務上疾病度数率

LR の保証業務は会社のサプライヤー、業務委託先、及び報告書で言及された第三者に関するデータ及び情報を除くものとする。

LR の責任は、会社に対してのみ負うものとする。本声明書の脚注で説明されている通り、LR は会社以外へのいかなる義務または責任を放棄する。会社は報告書内の全てのデータ及び情報の収集、集計、分析、公表、及び報告書の基となるシステムの効果的な内部統制の維持に対して責任を有するものとする。報告書は会社によって承認されており、その責任は会社にある。

保証意見

LR の保証手続の結果、会社が全ての重要な点において、

- 自らの定める基準に従って報告書を作成していない
- 正確で信用できる環境・社会データを開示していない

ことを示す事実は認められなかった。

¹ 全ての主要オフィス（報告期間中に 39 人以上の常勤従業員がいる拠点）を対象とする。

² コーポレートレポート 2019 及び楽天グループ ESG データブック 2019 において✓マークを付した環境・社会データについて限定的保証業務を行った。

³ GHG の定量化には固有の不確かさが前提となる。

⁴ スコープ 3 GHG 排出量は楽天株式会社を対象とする。

⁵ 廃棄物総排出量の算定対象範囲は、楽天クリムゾンハウス、二子玉川ライズオフィス、ロジスティクスセンター (RFC 市川 I、市川 II、市川 III、川西、流山、枚方)、Rakuten Direct Logistics、楽天生命パーク宮城、ノエビアスタジアム神戸、楽天損害保険 (オフィス)、楽天カード (オフィス) 及び楽天モバイル (オフィス) のみに限定される。

⁶ 勤続年数、業務上の死亡者総数、業務上傷害度数率、業務上疾病度数率は楽天株式会社を対象とする。障がい者雇用率は楽天株式会社、楽天ソシオビジネス株式会社、楽天コミュニケーションズ株式会社を対象とする。障がい者雇用率は 2019 年 12 月末時点を対象とする。

この保証声明書で表明された検証意見は、限定的保証水準、及び検証人の専門的判断に基づいて決定された。

注:限定的保証業務の証拠収集は、合理的保証業務に比べて少ない範囲で行われ、各拠点を訪問して元データを確認するより集計されたデータに重点を置いている。従って、限定的保証業務で得られる保証水準は合理的保証業務が行われた場合に得られる保証に比べて実質的に低くなる。

保証手続

LRの保証業務は、ISAE3000とGHGについてはISO14064-3に従って実施された。保証業務の証拠収集プロセスの一環として、以下の事項が実施された。

- 報告書内に重大な誤り、記載の漏れ及び誤りが無いことを確認するための、会社のデータマネジメントシステムを審査した。LRは、内部検証を含め、データの取扱い及びシステムの有効性をレビューすることにより、これを行った。
- データの収集と報告書の作成に関わる主たる関係者へのインタビューを行った。
- サンプルング手法を用いて、集計されたデータの再計算と元データとの突合を行った。
- 2019年の環境・社会データに関する記録および情報の検証を行った。
- COVID-19の世界的な感染拡大に伴う、会社の「訪問者の職場への入場制限」の実施により、データマネジメントシステムの運用状況を評価する為、楽天ヴィッセル神戸株式会社及びRakuten Direct Logistics株式会社相模原センターについて、e-mail及びZoomによるリモート検証を行った。

観察事項

各拠点からの報告値の正確性・網羅性向上のため、集計様式の標準化と報告の目的の理解の共有化を期待する。

基準、適格性及び独立性

LRはISO14065“温室効果ガス—認定又は他の承認形式で使用するための温室効果ガスに関する妥当性確認及び検証を行う機関に対する要求事項”、ISO17021-1“適合性評価—マネジメントシステムの審査及び認証を行う機関に対する要求事項-第1部：要求事項”に適合する包括的なマネジメントシステムを導入し、維持している。これらは国際会計士倫理基準審議会による国際品質管理基準第1号と職業会計士の倫理規定における要求も満たすものである。

LRは、その資格、トレーニング及び経験に基づき、適切な資格を有する個人を選任することを保証する。全ての検証及び認証結果は上級管理者によって内部でレビューされ、適用された手続が正確であり、透明であることを保証する。

LRが会社に対して実施した業務はこの検証のみであり、それ自体が我々の独立性あるいは中立性を損なうものではない。

署名



木下徳彦

LR主任検証人

ロイドレジスタークオリティアシュアランスリミテッド

神奈川県横浜市西区みなとみらい2-3-1 クイーンズタワーA 10F

LR reference: YKA00000765

2020年7月9日

Lloyd's Register Group Limited, its affiliates and subsidiaries, including Lloyd's Register Quality Assurance Limited (LRQA), and their respective officers, employees or agents are, individually and collectively, referred to in this clause as 'Lloyd's Register'. Lloyd's Register assumes no responsibility and shall not be liable to any person for any loss, damage or expense caused by reliance on the information or advice in this document or howsoever provided, unless that person has signed a contract with the relevant Lloyd's Register entity for the provision of this information or advice and in that case any responsibility or liability is exclusively on the terms and conditions set out in that contract. The English version of this Assurance Statement is the only valid version. Lloyd's Register Group Limited assumes no responsibility for versions translated into other languages.

This Assurance Statement is only valid when published with the Report to which it refers. It may only be reproduced in its entirety.

Copyright © Lloyd's Register Quality Assurance Limited, 2020. A member of the Lloyd's Register Group.

LR 独立保証声明書

楽天株式会社のコポレートレポート 2018 に掲載される、2018 年度 環境データに関する保証

この保証声明書は、契約に基づいて楽天株式会社に対して作成されたものであり、報告書の読者を意図して作成されたものである。

保証業務の条件

ロイドレジスタークオリティアシュアランスリミテッド（以下、LR という）は、楽天株式会社（以下、会社という）からの委嘱に基づき、コポレートレポート 2018 に掲載される 2018 年度（2018 年 1 月 1 日～12 月 31 日）の会社の環境データ（以下、報告書という）に対して、検証人の専門的判断による重要性水準において、ISAE 3000 及び温室効果ガスについては ISO14064-3 を用いて、限定的保証業務を実施した。

LR の保証業務は、会社とその国内外連結会社における運営及び活動に対して、以下の要求事項を対象とする。

- 会社の定める報告手順への適合性の検証
- 以下の指標に関するデータの正確性及び信頼性の評価

GHG データ¹

- エネルギー使用量 (MWh 換算値)
- スコープ 1 GHG 排出量 (tCO₂e)
- スコープ 2 GHG 排出量 (マーケット及びロケーション基準) (tCO₂)²
- スコープ 3 GHG 排出量 (カテゴリー 1-8, 11, 12) (tCO₂e)³

その他環境データ

- 水使用量 (m³)
- 廃棄物処理量 (トン)⁴

LR の保証業務は会社のサプライヤー、業務委託先、及び報告書で言及された第三者に関するデータ及び情報を除くものとする。

LR の責任は、会社に対してのみ負うものとする。本声明書の脚注で説明されている通り、LR は会社以外へのいかなる義務または責任を放棄する。会社は報告書内の全てのデータ及び情報の収集、集計、分析、公表、及び報告書の基となるシステムの効果的な内部統制の維持に対して責任を有するものとする。報告書は会社によって承認されており、その責任は会社にある。

検証意見

LR の保証手続の結果、会社が全ての重要な点において、

- 自らの定める基準に従って報告書を作成していない
- 正確で信用できるパフォーマンスデータを開示していない

ことを示す事実は認められなかった。

この保証声明書で表明された検証意見は、限定的保証水準、及び検証人の専門的判断に基づいて決定された。

注: 限定的保証業務の証拠収集は、合理的保証業務に比べて少ない範囲で行われ、各拠点を訪問して元データを確認するより集計されたデータに重点を置いている。従って、限定的保証業務で得られる保証水準は合理的保証業務が行われた場合に得られる保証に比べて実質的に低くなる。

¹ GHG の定量化には固有の不確かさが前提となる。

² 期間中に実施されたオフセットに関する主張については、検証・保証の対象にしていない。

³ スコープ 3 の算定対象範囲は会社のみで、その国内外連結会社は含まれない。

⁴ 廃棄物総排出量の算定対象範囲は、楽天クリムゾンハウス、二子玉川ライズオフィス、ロジスティクスセンター (RFC 市川 I、市川 II、市川 III、川西)、楽天野球団及び楽天ヴィッセル神戸のメイン球場に限定される。

保証手続

LRの保証業務は、ISAE3000とGHGについてはISO14064-3に従って実施された。保証業務の証拠収集プロセスの一環として、以下の事項が実施された。

- 報告書内に重大な誤り、記載の漏れ及び誤りが無いことを確認するための、会社のデータマネジメントシステムを審査した。LRは、内部検証を含め、データの取扱い及びシステムの有効性をレビューすることにより、これを行った。
- データの収集と報告書の作成に関わる主たる関係者へのインタビューを行った。
- サンプルング手法を用いて、集計されたデータの再計算と元データとの突合を行った。
- 2018年度のGHG排出量及びその他環境データに関する記録の検証を行った。
- データマネジメントシステムの運用状況を評価する為、楽天スーパーロジスティクス・市川 RFC I 及び楽天野球団を訪問した。

観察事項

各拠点からの報告値の正確性・網羅性向上のため、集計様式の標準化と報告の目的の理解の共有化を期待する。

基準、適格性及び独立性

LRはISO14065 温室効果ガス—認定又は他の承認形式で使用するための温室効果ガスに関する妥当性確認及び検証を行う機関に対する要求事項、ISO17021-1 適合性評価—マネジメントシステムの審査及び認証を行う機関に対する要求事項—第1部：要求事項の認定要求事項に適合する包括的なマネジメントシステムを導入し、維持している。これらは国際会計士倫理基準審議会による国際品質管理基準1と職業会計士の倫理規定における要求も満たすものである。

LRは、その資格、トレーニング及び経験に基づき、適切な資格を有する個人を選任することを保証する。全ての検証及び認証結果は上級管理者によって内部でレビューされ、適用された手続が正確であり、透明であることを保証する。

LRが会社に対して実施した業務はこの検証のみであり、それ自体が我々の独立性あるいは中立性を損なうものではない。

署名

2019年7月29日

田上幸治

田上 幸治

LR主任検証人

ロイドレジスタークオリティアシュアランス リミテッド

神奈川県横浜市西区みなとみらい 2-3-1 クイーンズタワーA 10F

LR reference: YKA00000765

Lloyd's Register Group Limited, its affiliates and subsidiaries, including Lloyd's Register Quality Assurance Limited (LRQA), and their respective officers, employees or agents are, individually and collectively, referred to in this clause as 'Lloyd's Register'. Lloyd's Register assumes no responsibility and shall not be liable to any person for any loss, damage or expense caused by reliance on the information or advice in this document or howsoever provided, unless that person has signed a contract with the relevant Lloyd's Register entity for the provision of this information or advice and in that case any responsibility or liability is exclusively on the terms and conditions set out in that contract.

The English version of this Assurance Statement is the only valid version. Lloyd's Register Group Limited assumes no responsibility for versions translated into other languages.

This Assurance Statement is only valid when published with the Report to which it refers. It may only be reproduced in its entirety.

Copyright © Lloyd's Register Quality Assurance Limited, 2019. A member of the Lloyd's Register Group.